
















【国立代々木競技場 芸術作品】

	タイトル	作者	場所	写真	説明
1	岩	志水晴児	第一体育館東西出入口		「岩」をテーマに粗い肌と加工した肌を組み合わせせた白い大理石で造られた斜壁彫刻が出迎えてくれる。
2	眼	岡本太郎	第一体育館南ロビー		南北各ロビーに配置されている陶製モザイクによる壁画は、人体をモチーフとしており、いづれも美しく立ち並んでいる。
	走る				
	足				
	手				
	競う				
	足		第一体育館北ロビー		
手					
3	プロフィール	岡本太郎	第一体育館正面ロビー		陶製モザイクの壁画
4	余韻の化石	水井康雄	第二体育館ロビー外周壁		全長93mに及んで花崗岩で制作されたレリーフ。「時の化石」、「炎の化石」、「水の化石」といった作品群は、瀬戸内海北木島で10人の助手たちと突貫制作された。
5	タイトル不明	水井康雄	第二体育館中庭		
6	平和	水井清子	事務棟屋上		
7	太洋的No.2	M.リブシ	事務棟屋上		
8	真鶴の夏の蝶	A.カルデナス	第一体育館原宿口園地		
9	水冠	篠田桃紅	第一体育館来賓室		代々木競技場の設計を手掛けた丹下健三氏の依頼により、1964年5月から7月にかけて制作された作品。作者の篠田桃紅氏は、1950年代中ごろから建築物に係る仕事を精力的に行っていた。